

経営体育成支援事業目標達成状況報告書(3年度目)

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
北海道	石狩市	石狩地区	平成26年度	平成28年度	石狩市

I 地区の成果目標

(単位:経営体、%)

項目	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			3年度目達成状況(%)
	1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)	
① 経営面積の拡大	0 0	5 3	5 5	100%
② 耕作放棄地の解消				
③ 農業の6次産業化				
④ 農産物の高付加価値化	0 0	5 3	5 4	80%
⑤ 農業経営の複合化				
⑥ 経営コストの縮減				
⑦ 輸出				
⑧ 農業経営の法人化				
⑨ 雇用				

II 経営体の成果目標

No	対象経営体名	項目	現状	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			3年度目 達成状況 (%)
				1年度目	2年度目	3年度目	
1		経営面積の拡大	自己所有0ha 利用権設定 14.6ha 合計14.6ha	自己所有0ha 利用権設定 14.6ha 合計14.6ha	自己所有0ha 利用権設定 15.1ha 合計15.1ha	自己所有0ha 利用権設定 15.6ha 合計15.6ha	410%
		農産物の高付加価値化 (白米たんぱく質含有率の改善)	蛋白質含有量 7.9%	7.9%	6.8% 6.85%	6.8% 7.9%	-
2		経営面積の拡大	自己所有5.1ha 利用権設定 8.3ha 合計13.4ha	自己所有5.1ha 利用権設定 8.3ha 合計13.4ha	自己所有5.1ha 利用権設定 10.3ha 合計15.4ha	自己所有5.1ha 利用権設定 10.3ha 合計15.4ha	215%
		農産物の高付加価値化 (馬鈴薯の新品種の導入)	0ha (男爵 3.5h)	0ha (男爵 3.5ha)	トウヤ 0.3ha	トウヤ 0.3ha	333.3%
		農産物の高付加価値化 (馬鈴薯の新品種の導入)	148,000円/反	148,000円/反	154,000円/反 177,862円/反	154,000円/反 166,179円/反	302.9%

3	経営面積の拡大	自己所有 14.1ha 利用権設定 12.4ha 合計26.5ha	自己所有14.1ha 利用権設定 12.4ha 合計26.5ha	自己所有14.1ha 利用権設定 14.4ha 合計28.5ha	自己所有14.1ha 利用権設定 14.4ha 合計28.5ha	265.0%
	農産物の高付加価値化 (米の新品種の導入)	0ha (ななつぼし 12ha)	0ha (ななつぼし12ha)	きたくりん 2ha	きたくりん 2ha	288%
	農産物の高付加価値化 (米の新品種の導入)	97,800円/反	97,800円/反	100,800円/反 170,130円/反	100,800円/反 115,729円/反	597.6%
4	経営面積の拡大	自己所有 12.9ha 利用権設定 1.5ha 合計14.4ha	自己所有12.9ha 利用権設定1.5ha 合計14.4ha	自己所有12.9ha 利用権設定3.5ha 合計16.4ha	自己所有12.9ha 利用権設定3.5ha 合計16.4ha	160%
	農産物の高付加価値化 (大根の新品種の導入)	0ha (タカミヤ、ソ パ)レ他3.3ha)	0ha (タカミヤ、ソ パ)レ他3.3ha)	札幌大球0.05ha	札幌大球0.05ha	120%
	農産物の高付加価値化 (大根の新品種の導入)	550,000円/反	550,000円/反	800,000円/反 0円/反	800,000円/反 1,203,784円/反	186.8%
5	経営面積の拡大	自己所有7.8ha 利用権設定 6.0ha 合計13.8ha (大根3.5ha)	自己所有7.8ha 利用権設定6.0ha 合計13.8ha	自己所有7.8ha 利用権設定8.0ha 合計15.8ha	自己所有7.8ha 利用権設定8.0ha 合計15.8ha	345%
	農産物の高付加価値化 (大根の新品種の導入)	0ha (美春0.5ha)	0ha (美春0.5ha)	サトシビキ0.5ha	サトシビキ0.5ha	114%
	農産物の高付加価値化 (大根の新品種の導入)	600円/10kg	600円/10kg	650円/10kg 960.02円/10kg	650円/10kg 1,152.38円/10kg	1104.8%

III 達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)

3年度目は、地区の成果目標「農産物の高付加価値化」の1経営体が目標を達成することができなかった。
JA営農課、改良普及センターの協力のもと、次年度以降の目標達成を目指す。

目標未達成理由等の報告書

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
北海道	石狩市	石狩地区	平成26年度	平成28年度	石狩市

I 経営体毎の成果目標の未達成理由等

No.	対象経営体名	成果目標	目標未達成となった主な理由等	目標達成に向けた具体的な改善措置 及び 目標達成見込時期等
1		農産物の高付加価値化	米のたんばく質含有量低下を目指していたが、H28年度は圃場の土壌状態やしっかりした栽培管理で対応できなかったため達成率0%となった。	営農計画の作成時に再度指導して、農業改良普及センター、JAなどの指導を受けながらH30年度に目標達成を目指す。

II 地区の成果目標(必須目標)毎の未達成理由等

成果目標項目 (必須目標)	未達成理由の総括	目標達成に向けた改善措置 及び 目標達成見込時期等
農産物の高付加価値化	5経営体のうち4経営体が目標達成(達成率80%)。新品種の栽培面積の導入・拡大を目標とする経営体は、新品種の栽培知識・技術が昨年度の天候不順等に対応できずに目標栽培面積までの拡大はできなかった。	農協、農業改良普及センター等関係機関・団体等と連携を図り、品種の変更や栽培技術の向上等の指導等を実施し、平成30年度迄に目標達成予定。

III 地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向

<p>1 担い手への農地利用集積について</p> <p>農地利用集積等の現状をみると、市全体では大規模農家が好条件の農地を確保するという状態で、小規模の農家が良好な農地の経営面積確保が課題である。今回石狩地区において、農作業の効率化により、経営面積拡大に対応するため本事業を導入したところであるが、予定した担い手に農地集積することに苦慮し、地区目標を達成することができなかった。これは上記のことが要因であり、この状態が続くと小規模の農家が良好な農地の面積拡大が進まないといった影響を及ぼすおそれがある。今後は、石狩地区全体として農地中間管理機構の活用等による利用集積を促進することことを目標とする。</p> <p>2 必要となる中心経営体の育成について</p> <p>中心経営体の育成・確保状況については、市全体では高齢化、後継者不足という状況であり、Uターン、Iターン、新規参入など新規就農者確保等が課題となっている。石狩地区は、今回の経営体12名を含め、99名(法人5)で地区全体を担うことを計画しており、この地域にあるべき中心経営体として経営改善状況等を引き続きフォローアップしていく必要がある。今後は、将来の地域農業に関する地区全体のコンセンサスが十分にまとまっていない同地区における中心経営体に法人化や、新規就農者などの育成・確保に向けた検討等を行っていくこととする。</p> <p>3 人・農地プランの作成・見直し等について</p> <p>現行の人・農地プランは、平成24年に作成し、担い手の現状(99経営体、経営規模2,043ha)と計画(平成28年度 99経営体、経営規模2,184ha)と定めているが、4年目(平成28年度実績)は129経営体、経営規模2,222haとなっており、農地の出し手となる者の農地面積等も計画との乖離が生じている。今回の石狩地区における上記1、2の状況及び過去に本事業を実施した農地利用集積の状況等を十分勘案し、市全体の現状を踏まえて、毎年度、人・農地プランの見直しを実施する予定である。</p> <p>4 未達成者への対応その他について</p> <p>構造政策を効果的に推進するため、未達成者に対するフォローアップを引き続き実施するとともに、今後の支援のあり方について(目標年度の次々年度の達成状況等をみた上での判断となるが)市全体の中心経営体の育成・確保状況やこれまでの活動状況等を踏まえて、地区の関係者、JA、農業改良普及センター等の関係者と定期的に農業再生協議会担い手部会を開催し検討する。</p>
